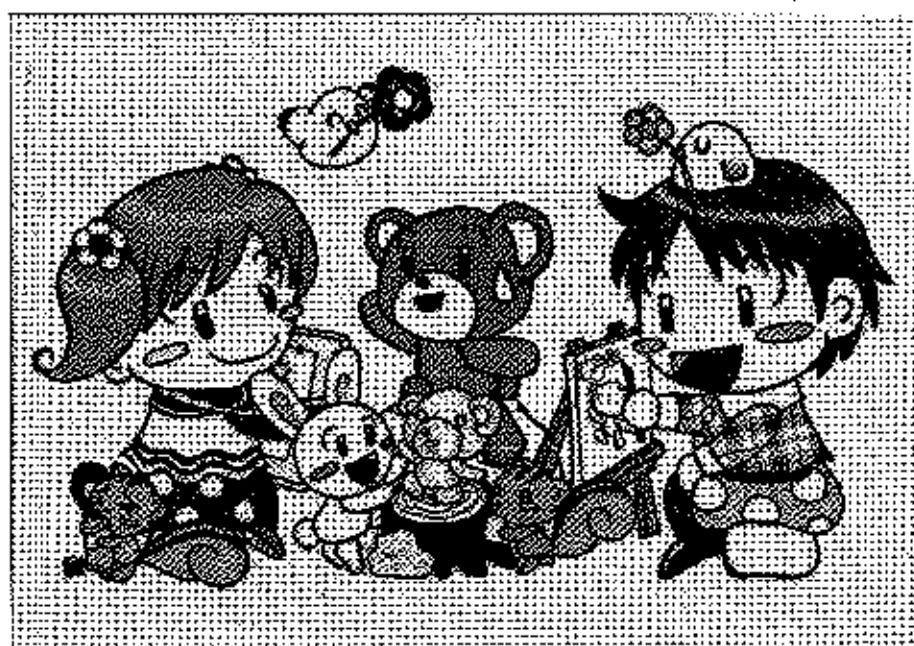


保育サービスの整備・運営及び 提供体制に関する全体計画






平成23年9月
国分寺市

国分寺市子ども福祉部保育課



保育サービスの整備・運営及び提供体制に関する全体計画

目 次

| | | |
|--|--|----|
| 1. 計画の目的 |  | 1 |
| 2. 計画の位置付け | | 1 |
| 3. 計画の策定方針 | | 1 |
| 4. 計画の内容 |  | 2 |
| (1) 保育サービスの施設整備に関する計画 | | 2 |
| ① 待機児童の解消 | | |
| ② 保育所配置の平準化 | | |
| ③ 多様な保育サービスの提供 |  | |
| (2) 公立保育所の民営化に関する計画 | | 4 |
| (3) 保育サービスの提供体制に関する計画 | | 6 |
| ① 市内保育施設の状況変化 | | |
| ② 基幹型保育所システムの導入 | | |
| ③ 基幹型保育所システムによる保育所の今日的役割と 質の向上への具体的機能 | | 11 |



1 計画の目的

この計画は、今後の国分寺市における保育サービスの施設整備方針、公立保育所の運営方針及び保育施設の全体の質の維持・向上を図るための新たなシステム構築の方針を定めるものです。

国分寺市の保育サービス全体に関わる計画を定め、一人ひとりの子どもたちが、いきいきと成長していくことができる環境を整備することを目的とします。

2 計画の位置付け

この計画は、第四次国分寺市長期総合計画（平成 19 年度～平成 28 年度）の考え方を踏まえ、平成 21 年度末に策定した「国分寺市保育の基本構想（平成 22 年 2 月策定）」の内容を具体化するものです。また、公立保育所の運営方針と計画については、「アウトソーシング基本方針（平成 22 年 1 月策定）※」の実施計画の一部として位置付けるものです。

※ 国分寺市が進めるアウトソーシングに関する基本的な考え方と今後の方針を定めたものです。今後は、この方針に基づき各部で具体的な実施計画を策定し、アウトソーシングを推進するものとしています。

3 計画の策定方針

2「計画の位置付け」を踏まえ、以下のことを基本的な方針とします。

(1) 市は、児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 2 条で定める「児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。」ことを基盤にして計画をします。

(2) 保育の公的責任として、次の点を基本的な考え方とします。

（ア）公的責任の一つは、等しく保育サービスが受けられるよう待機児童の解消を目指すこと。

（イ）公的責任の二つ目は、保育サービスの提供に当たってはサービス水準の維持・向上を図ること。

(3) 「保育の基本構想」の具現化を図るものとします。

(4) 公立保育所の運営については、「アウトソーシング基本方針」の考え方に基づくものとし、以下の点を前提として計画するものとします。



- (ア) 公立保育所の民営化を基本とした計画とします。
- (イ) 保育士等の退職者は原則として不補充を前提とした計画とします。
- (ウ) 施設の老朽化及び保育士等の退職者数の見込みに対応した計画とします。

4 計画の内容

(1) 保育サービスの施設整備に関する計画 別紙1

保育サービスの施設整備方針については、①待機児童の解消、②保育所配置の平準化、③多様な保育サービスの提供を柱とします。

① 待機児童の解消

市内の認可保育所の定員は23年4月現在1638名で、同年同月の待機児童数は、旧定義では92名、新定義では39名です。平成22年3月に策定した「子育て・子育ていきいき計画」で、待機児童の解消に向け、市内の認可保育所の定員を600名増員し平成26年度までに約2100名にすることとしています。これにより、潜在的な保育需要も含めた待機児童の解消を目指します。

◆◆定員の増員計画（年齢別）◆◆

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|--------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 平成23年度 | 155名 | 239名 | 275名 | 333名 | 316名 | 320名 | 1638名 |



| | | | | | | | |
|--------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 平成26年度 | 190名 | 300名 | 350名 | 420名 | 420名 | 420名 | 2100名 |
|--------|------|------|------|------|------|------|-------|

※ 平成26年度までに市内認可保育所の総定員を約2100名にします(年齢別定員内訳は予定数)。

◆◆平成20年4月から23年4月までの整備状況◆◆

| 年 月 | 定員 | 計画内容 |
|---------|-------|--|
| 平成20年4月 | 1218名 | 西国分寺保育園新設(120名) |
| 平成21年4月 | 1276名 | 恋ヶ窪保育園定員増(28名)、下谷第二保育園定員増(30名) |
| 平成22年4月 | 1358名 | ぶんじっこ保育園本園・分園(85名)、やなぎ保育園定員減(48名)、西国分寺保育園定員増(5名) |
| 平成23年4月 | 1638名 | アスクこくぶんじ南町保育園新設(60名)、にしこくワンダーランド保育園新設(120名)、保育園ピコ園分寺新設(60名)、ポッポのもり保育園定員増(26名)、ぶんじっこ保育園定員増(14名) |

◆◆平成 24 年度以降の整備予定状況◆◆

| | | |
|-------------|----------|---|
| 平成 24 年 4 月 | 1950 名程度 | 西地区を中心に新設（280 名程度）、アスクこくふんじ南町保育園定員増（50 名） |
| 平成 25 年 4 月 | 2050 名程度 | 西地区から中央地区に新設（100 名程度） |
| 平成 26 年 4 月 | 2100 名程度 | ひかり保育園公設民営化による定員増（20 名程度） |

② 保育所配置の平準化

保育所の配置は、現在、地域的に偏在があります（資料 1）。

また、地域別の待機児童数は（資料 2）、特に西町や光町などの市の西地区（国立駅を中心とするエリア）及び泉町と東恋ヶ窪などの中央地区（西国分寺駅を中心とするエリア）に多く分布しています。これらを勘案し保育所の増設を進め、整備に当たっては、「安心こども基金」などの国の交付金等の活用による認可保育所（民設民営保育所）の整備を基本とします。平成 23 年度に中央地区に新たな保育所整備を行ったことを考えると、24 年度は西地区に重点的に整備するものとし、それ以降は今後の待機児童の状況を考慮し、中央地区又は西地区に整備していきます。



③ 多様な保育サービスの提供

保育の基本構想では、市全体の保育サービスの維持・向上を図ることとともに、多様な保育ニーズへの対応が求められています。多様な保育サービスについては、以下のような取組を行います。

（ア）病児保育

病児保育は、子どもが病気になっても仕事を休むことができない保護者が、安心して子どもを預け就労するために必要な制度です。当面は市内に一か所病児保育施設を設置します（平成 23 年度の整備を目標とします。）。

（イ）病後児保育

すでに実施している施設及びひかり保育園に新たに整備することで地域的偏在をなくします。

- ・ ひかり保育園へ併設予定（平成 26 年度）（西地区病後児保育室）
- ・ 西国分寺保育園へ併設済（中央地区病後児保育室）
- ・ 恋ヶ窪保育園へ併設済（東地区病後児保育室）

（ウ）休日・夜間保育事業

事業者の誘致等により平成 26 年までに整備します。

保護者の働き方の多様化により必要とされる事業です。広域的な利用も視野に入れ、主要な駅周辺に整備します。

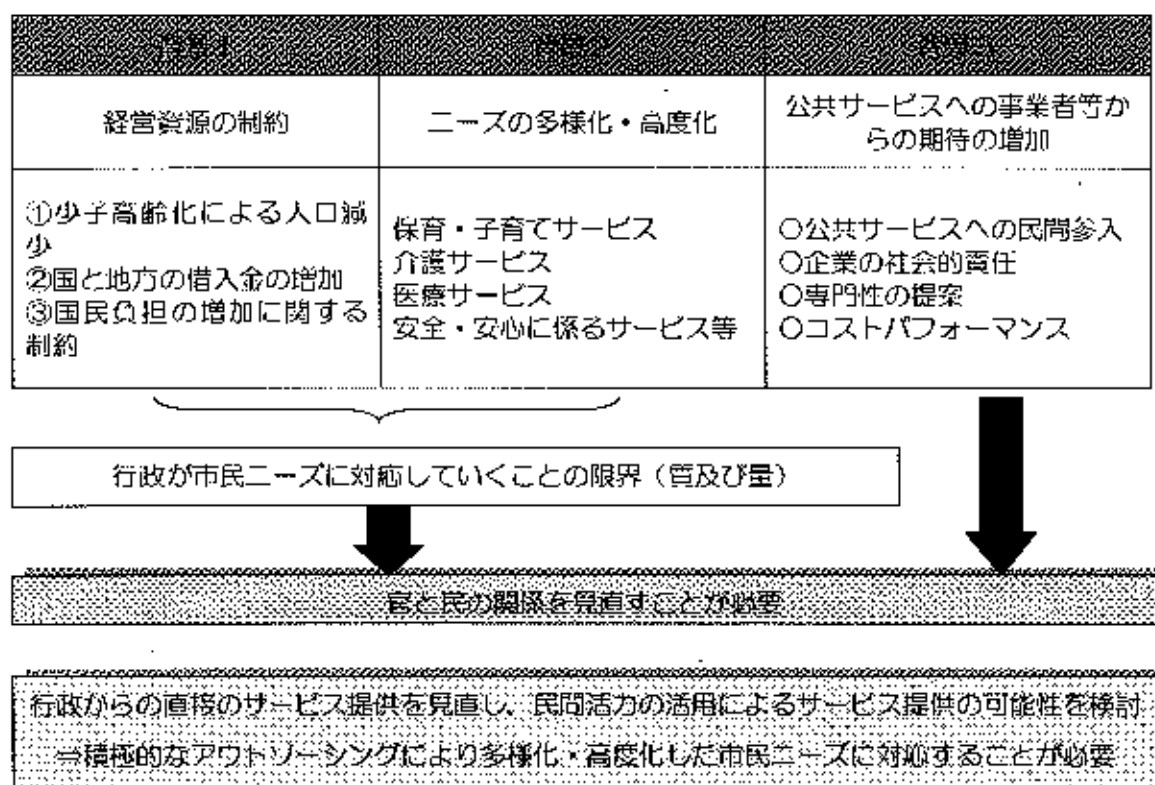


(2) 公立保育所の民営化に関する計画

公立保育所については、「アウトソーシング基本方針」に基づき年次計画のとおり民営化することとします。

◆◆アウトソーシング基本方針における「推進の背景」◆◆（平成 22 年1月策定アウトソーシング基本方針から抜粋）

- 基礎自治体が市民サービスを提供するに当たっては、従来の手法では、その「質及び量」の確保に限界が来ています。つまり、市民サービスの拡大は、時として財政規模の拡大につながり、財政の限界からサービスの「質及び量」の確保が制限を受けることとなります。
- このような現状に至った背景は、①国・地方の経営資源の制約、②市民ニーズの多様化・高度化、③公共サービスへの事業者等（市内で事業活動又は公益的な活動を行う団体）からの期待の増加があげられます。
- その結果、資源の限界の中で、市民サービスの継続・充実を図るには、官と民の役割を見直すとともに、自治体内部の業務の見直しを進め、積極的なアウトソーシングを推進することが必要になっています。
- 以上の関係は次のようになります。



- 国分寺市の将来像である「健康で文化的な都市―住み続けたいまち、ふるさと国分寺―」を名実ともに実現していくためには、市が自立するための財政基盤を確立させ、持続可能な行政運営を行うことが重要です。
- そのため、行政のスリム化による簡素で効率的な行政運営の実現が求められています。
- 市の財政は非常に厳しい状況にあります。財政の弾力化を示す経常収支比率は平成 21 年度決算で 98.1%と硬直化を現し、今後の財政負担となる地方債償還額は利子を含めて約 564 億円で、毎年度 60 億円以上の償還が必要となっています。
- こうした中で、少子高齢化に対応する社会福祉施策の充実や道路・再開発といった都市基盤などの課題に加え、市民生活の安心・安全への対応など、厳しい財政状況の中で取り組むべき課題は山積しています。
- そのため、市の業務を見直し、市が直接実施すべき分野を明確にすることで、職員や財源など限られた経営資源の有効活用を図る必要があります。
- このような国分寺市の現状からみても、公共サービスにおける行政と民間との役割を見直し、積極的にアウトソーシングを推進しなければなりません。



◆◆公立保育所民営化の年次計画◆◆

| 年度 | 対象園 | 手法 | 備考 |
|-------|---------|---------|-----------|
| 26 年度 | ひかり保育園 | 公設民営化 | |
| 28 年度 | 日吉保育園 | 民設民営の誘致 | 昭和 43 年設置 |
| 29 年度 | ほんだ保育園 | 民設民営の誘致 | 昭和 55 年設置 |
| 31 年度 | もとまち保育園 | 民設民営の誘致 | 昭和 49 年設置 |
| 32 年度 | しんまち保育園 | 民設民営の誘致 | 昭和 51 年設置 |

- ・ 民営化の計画は、状況により、定期的な検証や見直しを行います。
- ・ 民営化の対象となっている保育所の保護者等へは個別に説明会等を開催します。
- ・ 地域の待機児童の状況等により、閉園の可能性も検討します。
- ・ 公設公営保育所の民営化により、保育所の運営に必要な経費は 1 園当たり年間約 8300 万円削減できます。

① 公立保育所民営化計画の前提条件

- (ア) 保育士等の退職者は原則として不補充を前提とします。
- (イ) 施設の老朽化及び保育士等の退職者数の見込みに対応した計画とします。
- (ウ) 平成 32 年度において、こくぶんし保育園（直営）の保育士は正規職員となることを基本とした計画とします。



② 公立保育所民営化計画の手続

民営化に当たっては、次の手続を踏むことを基本とします。

- ・ 民営化する保育所については、すでに平成 21 年度に民営化を実施した市立恋ヶ窪保育園の手続に準じて丁寧に実施します。
- ・ 「民営化ガイドライン」を民営化する保育所の保護者参加を経て作成し、公表します。
- ・ 民営化する保育所の保護者を対象に説明会を複数回開催します。
- ・ 事業者選定基準を定め、事業者の財務状況をも含めた審査を行い、質の高い事業者を選定します。また、選定された事業者と障害児保育・特別の支援を要する児童の保育について、民営化前の状況で受入れを行う旨などの事項が掲げられた協定書を締結します。
- ・ 選定終了後に選定結果を公開します。

③ 公立保育所民営化計画のスケジュールの概略

民営化には次のとおり 3 年の期間をかけ、保護者の負担や特に園児への負担を十分に考慮し丁寧に進めます。

- 民営化準備 1 年目 … 保護者参加による民営化ガイドラインの作成
民営化準備 2 年目 … 事業者選定基準の作成及び事業者選定
民営化準備 3 年目 … 保育の引継ぎ（1 年間の引継ぎ期間）



(3) 保育サービスの提供体制に関する計画

(1)「保育サービスの施設整備に関する計画」及び(2)「公立保育所の民営化に関する計画」を進めるに当たっては、同時に保育サービスの水準の維持・向上を図るための効果的な保育サービスの提供体制を整える必要があります。基幹型保育所システム（②以降に詳細説明）を構築することにより、国分寺市保育の基本構想に掲げた「保育所に求められる今日的役割」「保育所保育の質の向上」を効果的に実現し、震災発生時等の不測の事態への強化の役割を担います。

※ 国分寺市保育の基本構想に掲げる保育所に求められる今日的役割

- (ア) 虐待への対応
- (イ) 障害児保育・特別の支援を要する子どもの保育の充実

※ 国分寺市保育の基本構想に掲げる保育所保育の質の向上

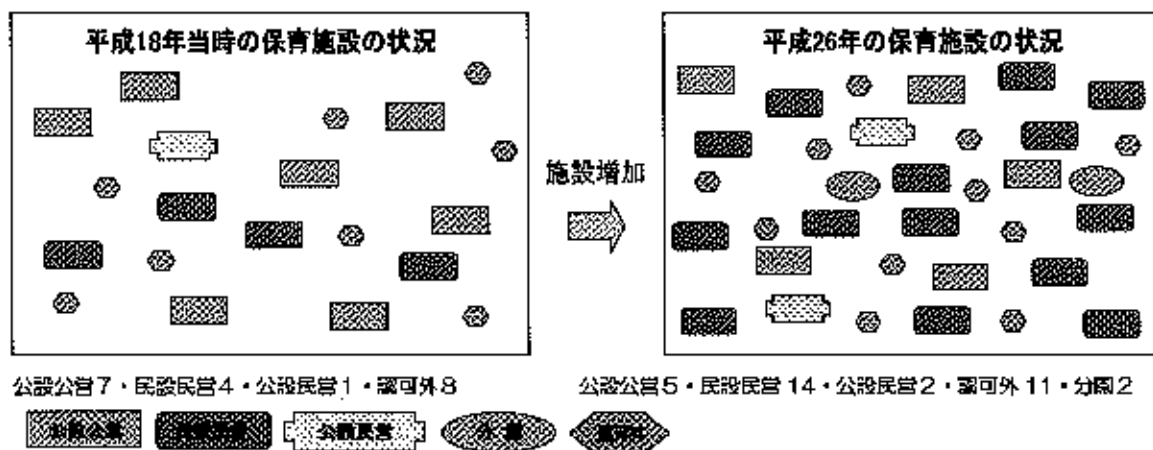
- (ア) 独立した苦情解決システムの構築
- (イ) 保育所職員・保育所の自己評価
- (ウ) 私立保育所に対しての市の役割
- (エ) 保育所職員の質の向上



各保育所は関係機関と連携し、現状でもこれらの役割や取り組みを行っていますが、基幹型保育所システムにより更に充実していきます。

① 市内保育施設の状況変化

～保育所の整備推進【質の拡充】と公立保育所の民営化推進【財政効果】による～



平成26年は平成18年と比較し、認可保育所で9園（分園を含めると11園）増加し、認可外保育施設は3園増加します。また、民営化の推進により、直営の公設公営保育所は7園から5園に減少し、最終的に平成32年度には公設公営保育所は1園になる予定です。



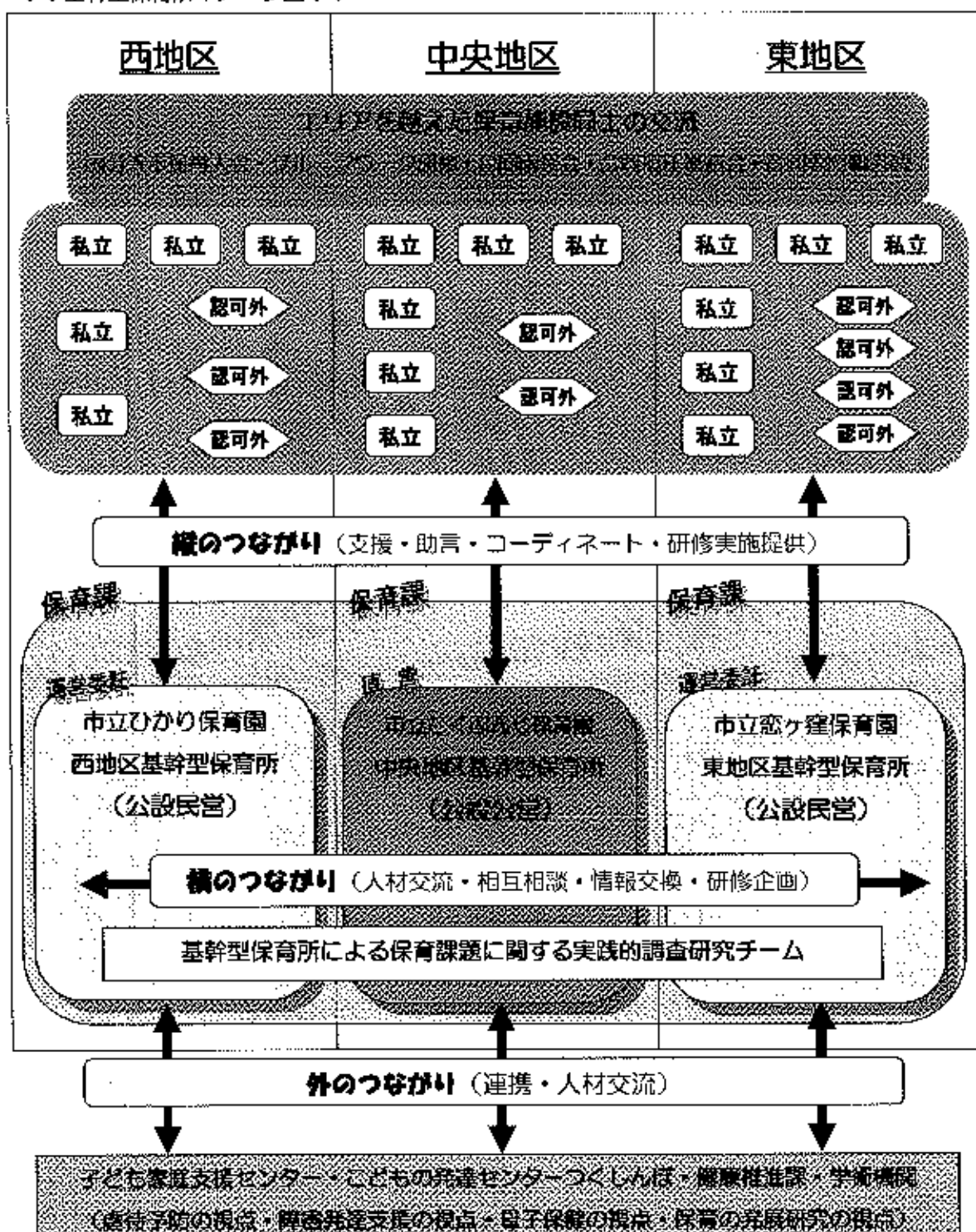
② 基幹型保育所システムの導入（システム化された保育サービスの提供体制の確立【質の拡充】）

3つのJR駅《国分寺駅・西国分寺駅・国立駅》を基点に、市内を3つのエリア《国分寺駅=東地区、西国分寺駅=中央地区、国立駅=西地区》に分け、各エリアに基幹となる保育所を設けます。その基幹型の保育所がエリア内の他の認可・認可外を含む保育施設と地区別の連携体制を構築し、全体として保育の質の維持・向上を担保します。様々な保育施設が増えていく中で、民営化を進める状況において、保育サービスの水準の維持・向上を担保する仕組みとします。また、この3つの基幹型保育所を公立保育所とすることにより市の保育施策の実現を目指し、運営については民営2園と公営1園にすることにより、運営形態の違う基幹型保育所同士が相互に作用し、公と民の連携を強化し、互いの保育所のノウハウ等の共有ができる仕組みとします。

さらに、基幹型保育所において、震災発生時にエリア内の乳幼児の一時的な受入れに対応できるよう、飲料水・食料品・医薬品等の常備や体制の整備を行います。



◆◆基幹型保育所イメージ図◆◆

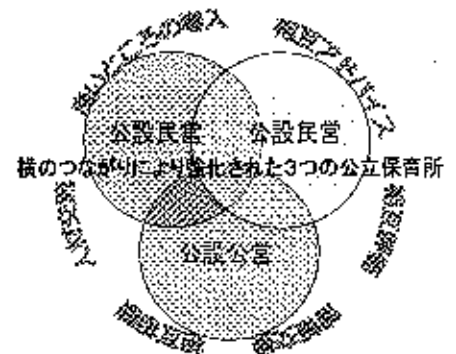


- ※ 基幹型保育所は直営のこくぶんじ保育園も含めて並列の関係とし、保育課が中心となり連携を強化します。
- ※ 障害児保育や虐待対応などについては、従来の各保育所と他機関とのつながりを維持しつつ、さらに体系的なつながりを構築します。
- ※ 基幹型保育所へは、基幹型保育所業務を行うための専任の保育士等を配置します。

(ア) 基幹型保育所の機能

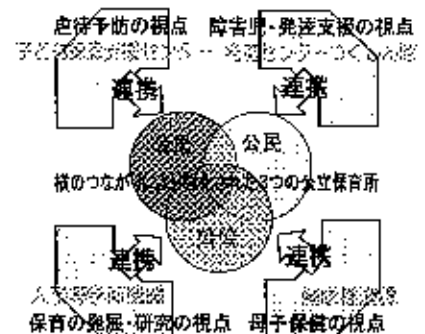
● 基幹型保育所同士の相互作用機能（横のつながり）

運営主体の異なる3つの公立保育所（民営2園と公営1園）が互いのノウハウを共有し、また情報交換や人材交流を行い相互に作用するためのつながり



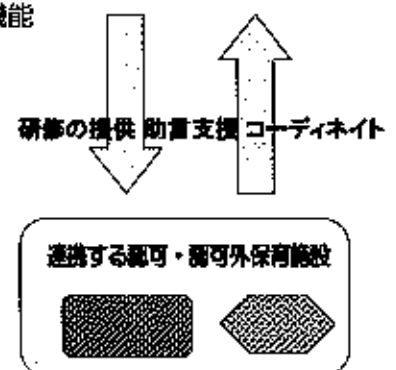
● 他機関との連携機能（外のつながり）

子ども家庭支援センター、こどもの発達センターつくしんぼ、健康推進課、学術機関等、他機関との連携の強化により各種専門的知識や最新の情報を共有するためのつながり



● 基幹型保育所以外の保育施設への助言支援・コーディネート等機能（縦のつながり）

他機関とのつながりや基幹型保育所同士のつながりにより習得した知識、情報等を連携する認可保育所・認可外保育施設に研修の提供等を通じて再配分し、エリア内の保育施設間をコーディネートするためのつながり、及び家庭福祉員等への小規模施設への人的支援のためのつながり



(イ) 基幹型保育所の設置方針と計画

東地区（国分寺駅エリア）基幹型保育所 恋ヶ窪保育園（公設民営）

連携する保育施設《 認可6園・認可外4園 》

- 認 可 ①もとまち保育園、②ほんだ保育園、③国分寺Jキッズステーション、④
ぶんじっこ保育園、⑤アスクこくぶんじ南町保育園、⑥保育園ピコ国分寺
- 認可外 ①国分寺プチ・クレイシュ、②野山家庭福祉員、③村松家庭福祉員、④手
塚家庭福祉員

病後児保育施設：恋ヶ窪保育園内たんぽぽ保育室

中央地区（西国分寺駅エリア）基幹型保育所 こくぶんじ保育園（公設公営）

連携する保育施設《 認可6園・認可外2園 》

- 認 可 ①裕光保育園、②やなぎ保育園、③千春第二保育園、④西国分寺保育園、
⑤ポッポのもり保育園、⑥にしこくワンダーランド保育園
- 認可外 ①西国分寺プチ・クレイシュ、②アスク西国分寺保育園

病児保育施設 平成23年設置予定

病後児保育施設 西国分寺保育園内おひさま保育室

西地区（国立駅エリア）基幹型保育所 ひかり保育園（公設民営）

連携する保育施設《 認可5園・認可外3園 》

- 認 可 ①しんまち保育園、②日古保育園、③（仮）西地域新保育園A、④（仮）
西地域新保育園B、⑤（仮）西地域新保育園C
- 認可外 ①萌ベビーホーム、②棚田家庭福祉員、③藤田家庭福祉員

病後児保育施設：平成26年度ひかり保育園内設置予定

③ 基幹型保育所システムによる保育所の今日的役割と質の向上への具体的機能

平成 23 年度よりワーキングチームを組織し、平成 26 年度までに詳細な制度設計をします。基幹型保育所導入後は、各基幹型保育所から選出された職員により『保育課題に関する実践的調査研究チーム（仮）』を組織し、このチームが、現場の目線で保育課題や保育の質の向上のための調査研究を行い、市全体の保育を牽引します。



◆◆ 国分寺市保育の基本構想に掲げる保育所に求められる今日的役割 ◆◆

（ア）虐待への対応

- ・基幹型保育所職員と子ども家庭支援センターとの人材交流を行います。
- ・基幹型保育所が主催する研修を定期的で開催し、連携する保育施設へ情報を提供します。

（イ）障害児保育・特別の支援を要する子どもの保育の充実

- ・基幹型保育所職員とこどもの発達センターつくしんぼとの長期的な人材交流を行います。
- ・基幹型保育所に心理相談員等の福祉専門職を配置し、各園を巡回します。
- ・基幹型保育所が主催する研修を定期的で開催し、連携する保育施設へ情報を提供します。

◆◆ 国分寺市保育の基本構想に掲げる保育所保育の質の向上 ◆◆

（ア）独立した苦情解決システムの構築

- ・現在ある第三者委員を活用した苦情解決システムとともに、市と直結した苦情処理の仕組みを構築します。

（イ）保育所職員・保育所の自己評価とその検証

- ・基幹型保育所においては第三者評価を定期的（おおむね 3 年ごと）に受診し、受診をしない年度については利用者アンケートを実施します。
- ・基幹型保育所で横断的な組織を構築し、保育士・保育所の自己評価シートを作成するなどの仕組みづくりを行います。学識経験者等の外部からの視点を導入し、客観性が高く多角的な仕組みを構築します。
- ・評価シートや第三者評価・アンケート調査は、結果を（仮）子育て・子育て推進協議会（いきいき計画の推進体制として整備予定）に報告し、検証します。

（ウ）私立保育所に対しての市の役割

- ・私立保育所へ定期的な研修の提供を行います。また、基幹型保育所で行う担任連絡会や栄養士会議等への任意参加を促し、情報交換の場を提供することにより、日頃の業務の点検

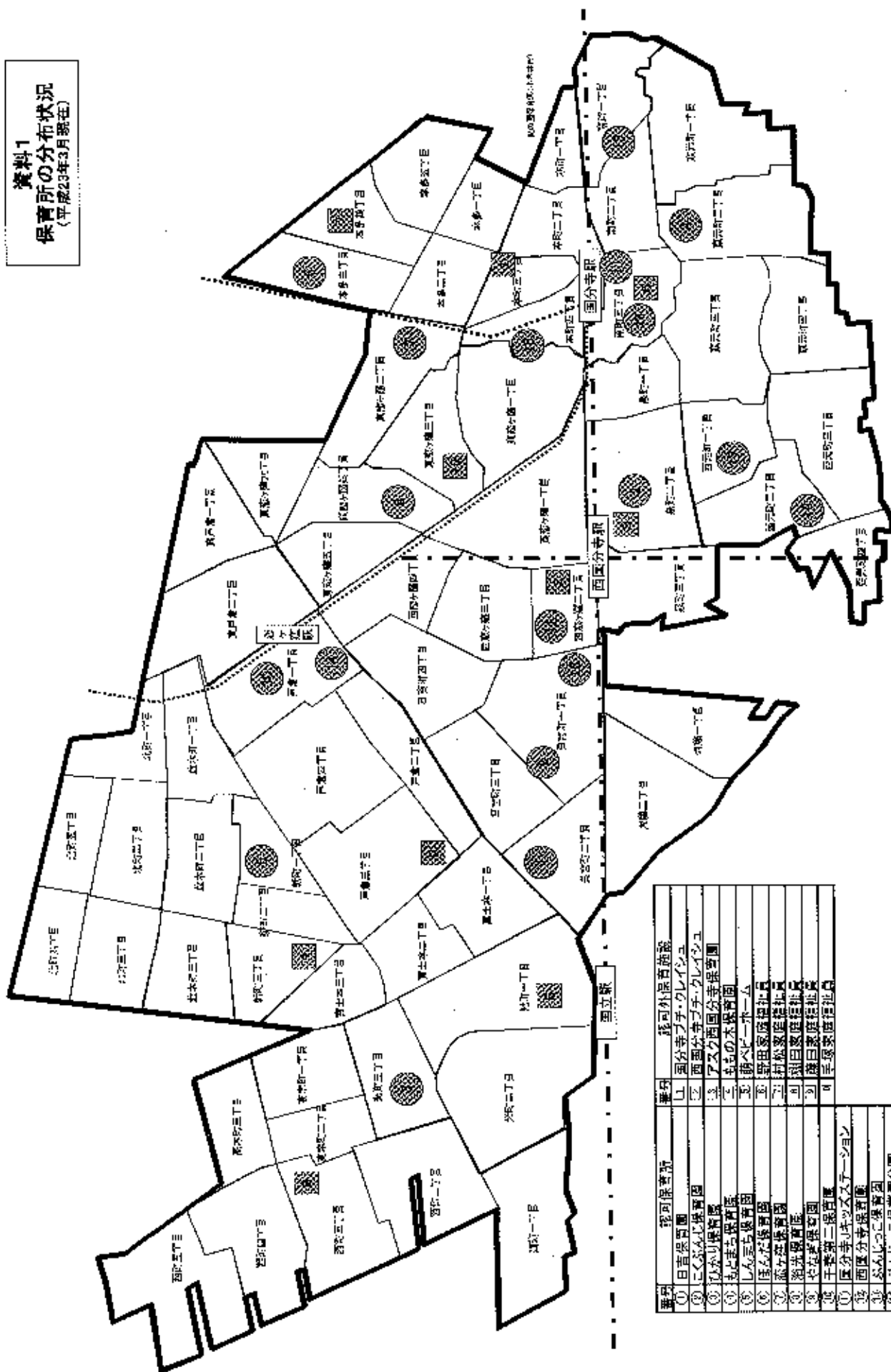
や保育の孤立を防ぐ等の支援をしていきます。

- ・私立保育所が第三者評価や独自アンケートの結果について、助言や指導を求めた場合は、基幹型保育所の職員がかかわり支援していきます。
- ・障害児保育・特別の支援を要する児童の保育の充実のため、補助制度の拡充も含めた体制の構築を行います。
- ・万が一私立保育所が閉園した場合に、継続した保育の実施が行えるよう、基幹型保育所システムにより体制を構築します。

(エ) 保育所職員の質の向上

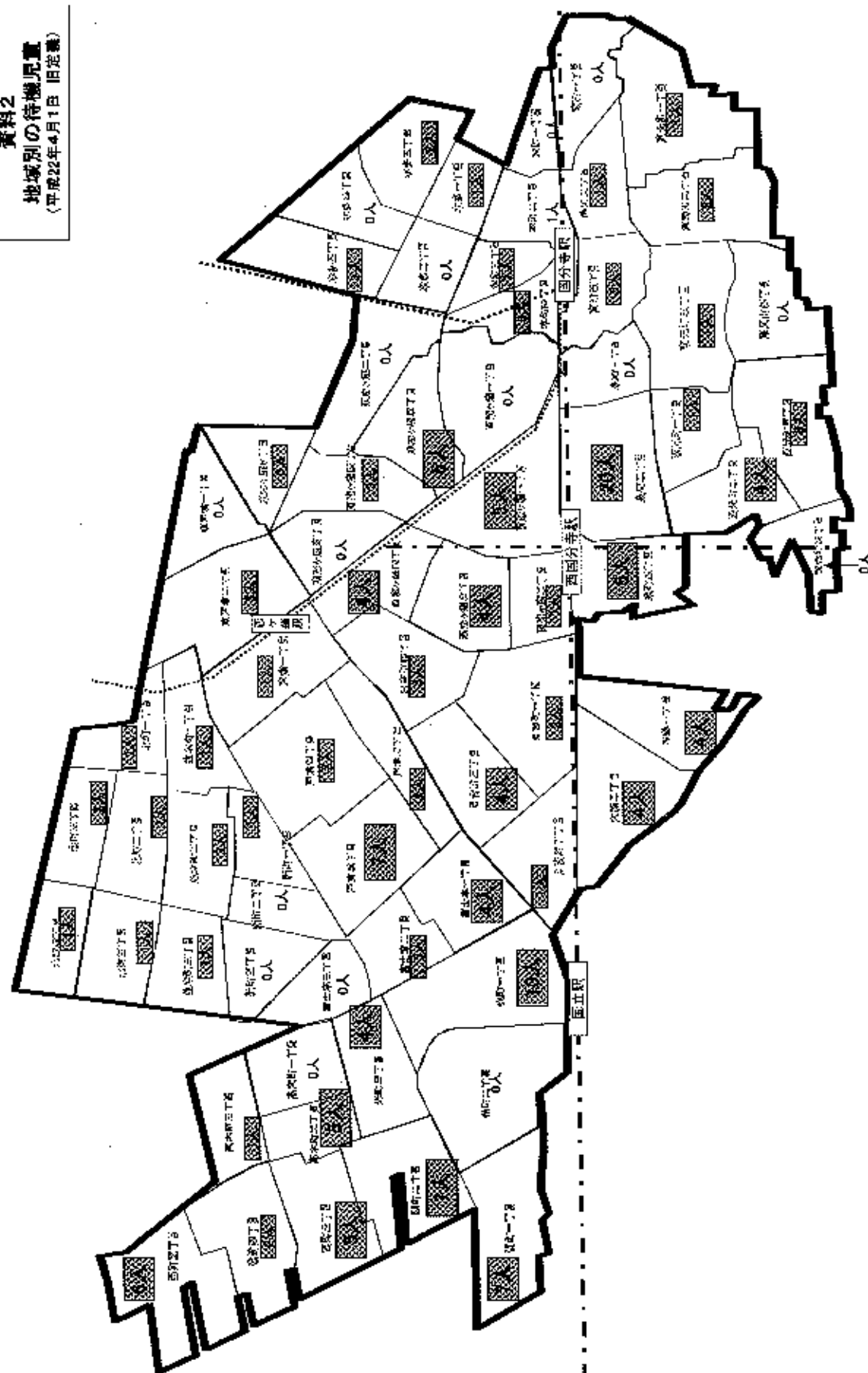
虐待予防や障害児保育などの専門性の高い分野に精通した保育士を養成します。また、最新の保育に関する課題（たとえば子ども子育て新システムなどの国等の制度改正）について研究を行い、新たな保育の課題に対応できる職員を育成します。基幹型保育所が中心となり、保育施設だけでなく様々な機関が参加できるオープンな『(仮) 国分寺市保育大会』等の研究成果の発表の場を設け、他の連携する保育施設にも還元していきます。

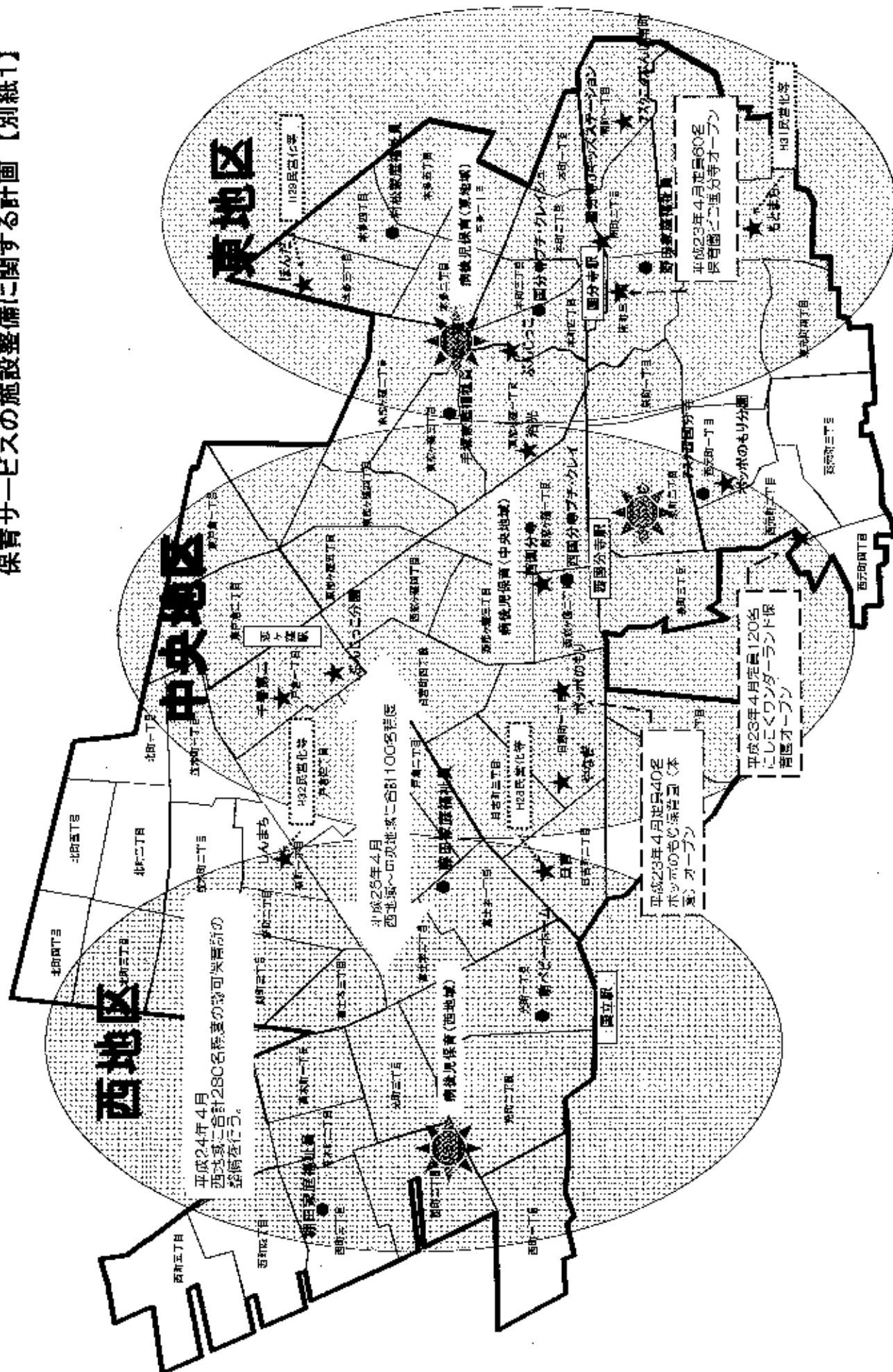
資料1
保育所の分布状況
(平成23年3月現在)



| 番号 | 認可保育所 | 認可外保育施設 |
|----|---------------|----------------|
| ① | 日吉保育園 | ① 西分寺プチャ・クレイシユ |
| ② | こぐま保育園 | ② 西分寺プチャ・クレイシユ |
| ③ | ひかり保育園 | ③ アスク西分寺保育園 |
| ④ | もも保育園 | ④ ももの木保育園 |
| ⑤ | しんま保育園 | ⑤ 藤べーホーム |
| ⑥ | ほんだ保育園 | ⑥ 野田家庭福祉会 |
| ⑦ | 源分保育園 | ⑦ 村松家庭福祉会 |
| ⑧ | 源分保育園 | ⑧ 源分家庭福祉会 |
| ⑨ | やなぎ保育園 | ⑨ 源分家庭福祉会 |
| ⑩ | 王子保育園 | ⑩ 王子家庭福祉会 |
| ⑪ | 西分寺はつさステーション | |
| ⑫ | 西分寺保育園 | |
| ⑬ | ふんじつこ保育園 | |
| ⑭ | ふんじつこ保育園 | |
| ⑮ | アスカこぐまに産後・保育園 | |
| ⑯ | ホッポのり保育園 | |
| ⑰ | ホッポのり保育園 | |
| ⑱ | 保育園 | |
| ⑲ | にこくワグン・ランド保育園 | |

地域別の待機児童
(平成22年4月1日 旧定義)





平成 23 年 8 月 31 日 庁議決定
平成 23 年 9 月 2 日 市長決裁